

「観光関連事業者景況調査（1月分）」集計速報

調査概要

本調査は、静岡県中部5市2町の観光関連事業者の中から抽出した333事業所に対して2022年2月4日付で調査票を送付し、郵送またはWebで149先から回答（回収率44.7%）を得た。表内の数字は指数（STI※）で示しており、最大+50、最小▼50で、基準時点と比べた景況感を示している。

1. 直近の景況感

（1）前月と比べた当月（1月）の景況感

（全体）昨年12月と比べた今年1月の景況感は▼23.3と2カ月連続のマイナス

（業態）交通が▼45.0と、前月比▼47.8ポイントの大幅マイナス

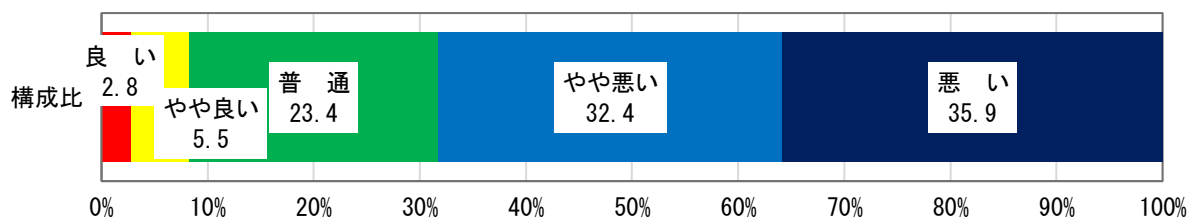
（地域）吉田町は▼7.5だが、残る6市町は2桁のマイナス

前月と比べた当月（1月）の景況感（STI）

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
1月・速報	▼23.3	▼12.8	▼26.5	▼34.4	▼17.2	▼45.0	▼25.0
12月・確報	▼2.8	▼9.5	▼0.5	▼1.3	▼4.2	+2.8	+5.0

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
1月・速報	▼23.3	▼22.9	▼28.8	▼20.8	▼34.4	▼16.7	▼7.5	▼27.8
12月・確報	▼2.8	▼2.5	▼8.9	+2.9	▼6.9	+3.3	▼9.4	▼5.6

前月と比べた当月の景況感



※…STI (Suruga Tourism business Index)…静岡県中部5市2町の観光関連ビジネスの景況感を示す指数。設問に対して5択（「良い」+50、「やや良い」+25、「普通」±0、「やや悪い」-25、「悪い」-50）で回答してもらい、回答を点数化して合計し、有効回答数で除した値。全員が「良い」と回答すれば指数は最大値の+50となり、全員が「悪い」と回答すれば指数は最小値の-50となる。結果がプラスの場合には基準時点よりも景況感が『改善』、マイナスになれば基準時点よりも景況感が『悪化』したことを示す。

(2) 当月（1月）と比べた2～3か月先の景況感の見通し

（全体）今年1月と比べた今年3～4月の景況感は▼16.6と悪化の見通し

（業態）その他以外の業種は2桁のマイナス

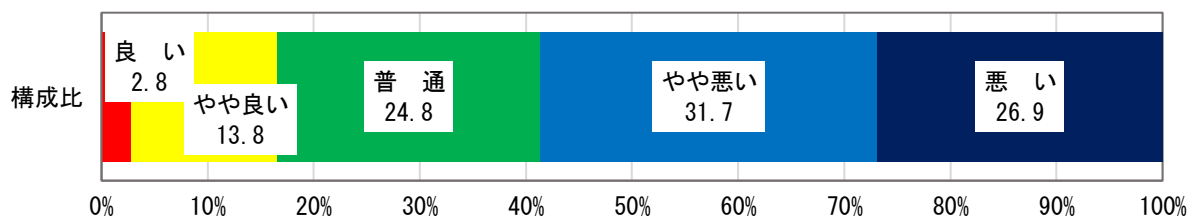
（地域）島田市と牧之原市は1桁のマイナスだが、残る5市町は2桁のマイナス

当月（1月）と比べた2～3か月先の景況感の見通し（STI）

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
1月・速報	▼16.6	▼10.0	▼24.0	▼15.0	▼18.8	▼17.5	▼5.6
12月・確報	▼16.7	▼11.3	▼18.3	▼26.3	▼20.8	▼22.2	+5.0

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
1月・速報	▼16.6	▼17.5	▼1.8	▼18.8	▼28.1	▼6.3	▼12.5	▼28.1
12月・確報	▼16.7	▼17.1	▼21.4	▼27.9	▼5.6	▼3.3	▼21.9	▼16.7

当月と比較した2～3か月先の景況感の見通し



2. 過去と比べた当月（今年1月）の景況感

(1) 昨年同月（コロナ禍）と比べた当月の景況感

地域全体 ▼ 1.9 (前月 + 8.0)

(1年前からの変化の要因)

- ・客単価が上がった
- ・GoToトラベルが中止になった昨年よりも来訪者は増加した
- ・中部横断自動車道が開通した
- ・昨年も営業を休止しており、大きく変わらない
- ・仕入れ単価が上がっているが、販売価格に転嫁しきれていない
- ・1月27日からまん延防止等重点措置の対象になった
- ・まん延防止に指定される前から人出が減り始めていた

(2) 2019年同月（コロナ禍以前）と比べた当月の景況感

地域全体 ▼ 28.5 (前月 ▼ 15.3)

(コロナ前からの変化の要因)

- ・割引価格を適用する団体客が減ったことで、客単価が上がった
- ・出張で訪れる人が減った
- ・仕入れ価格や運賃が上昇して利益が減少した
- ・参拝者（初詣客）が減少した
- ・新年会の人数が減り、開催回数も減った
- ・店内での飲食が減り、テイクアウトが増えた

(以上)